
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより 第89号（通巻第156号）

2010年6月29日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、変更しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ 「特別支援教育基礎研修」のお知らせ

平成22年度特別支援教育基礎研修を附属特別支援学校との共催で下記の通り実施いたします。参加費は無料でどなたでも参加できます。7月29日までに事前に申し込むことになっておりますが、当日も受け付けております。ご参加宜しくお願い致します。

- ・日時：平成22年8月3日(金) 午前9:30～12:00
- ・会場：山梨大学教育人間科学部 J号館5階 A会議室
- ・講演：「高等学校における『かながわの支援教育』の具体的展開－特別でない特別支援教育－（仮題）」
神奈川県立田奈高等学校教諭 浜崎美保 先生

■ 「第2回期間採用者等研修」のお知らせ

平成22年度第2回期間採用者等研修を下記のとおり開催いたします。
参加費は無料です。

学生のみなさんの参加も可能です。7月27日までにセンターに申し込むことになっておりますが、当日も受け付けております。

日時：平成22年8月4日(金) 午前9:30～15:15(特別研修は17:30まで)

会場：山梨大学教育人間科学部 J号館5階A会議室

研修内容：

研修1：校種別研修

小中学校「特別支援教育について」

高等学校「高校の教科指導について」

研修2：「児童・生徒理解生徒指導の工夫」

特別研修：「文章力・言語表現力」

■ 「第1回期間採用者等研修」の報告

平成22年度第1回期間採用者等研修を、5月29日（土）に実施しました。当日は、小中高の期間採用の先生方と学生合わせて92名が参加しました。参加者の事後のアンケート結果をみますと、96%の方から「研修会は参考になった」との回答をいただき、大変喜ばしく思っています。当日の内容は次のとおりでした。

- 研修1 : (教科等指導法基礎研修)「児童・生徒をひきつける授業の工夫」
- 研修2 : (学級経営)「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりへのヒント」
- 特別研修 : (教職の基礎知識)「教職に役立つ教育法規・制度の知識」

■ 平成22年度第1回教育実践総合センター運営委員会報告

平成22年度第1回教育実践総合センター運営委員会が、6月2日（水）15:00～17:00にJ424において、加藤センター長、志村、福永、酒井、金丸（附属特別支援）、古屋（附属幼稚園）、谷口、成田、嶋田、早川、雨宮（客員教授）、瀧田（客員教授）の各委員の出席のもと開催され、以下の議事について審議されました。

報告事項

- 1 平成22年度客員教授について
- 2 平成22年度戦略的プロジェクトの採択状況について
- 3 平成23年度戦略的プロジェクトの申請について
- 4 平成22年度特別経費要求について
- 5 平成22年度教育用図書及び製本の申請について
- 6 平成22年度教育教材・器具更新の申請と採択状況について

協議事項

- 1 平成21年度教育実践総合センター活動報告
 - (1) 情報教育研究部門活動報告
 - (2) 教育臨床研究部門活動報告
 - (3) 教育実践研究部門活動報告
 - (4) センター紀要・センターニュース・センターだよりの発行状況
- 2 平成22年度教育実践総合センター事業計画
 - (1) 情報教育研究部門事業計画
 - (2) 教育臨床研究部門事業計画
 - (3) 教育実践研究部門事業計画
 - (4) センター紀要・センターニュース・センターだよりの発行計画
センター紀要のpdf編集作業を、今年度から印刷業者に依頼すること、作業費用に関する学部特別経費への予算申請、及び、これまでLaTeX形式以外の入稿の際徴収していた作業料の撤廃について提案があり、了承された。
- 3 教育実践総合センターの運営に関する規定・委員会組織について、原案どおり承認された。
 - (1) 教育実践総合センター利用細則
 - (2) 教育実践総合センター施設・設備利用委員会委員
 - (3) 教育実践総合センター研究紀要刊行規定
 - (4) 教育実践総合センター研究紀要執筆要項
 - (5) 教育実践総合センター研究紀要編集委員会委員
- 4 平成21年度教育実践総合センター決算報告
平成21年度決算について報告があり承認された。
- 5 平成22年度教育実践総合センター予算
平成22年度予算について報告があり承認された。

■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは、研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり、県教育委員会へ報告しております。お手数ですが、教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等、地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」にご記入いただく形で送信してください。ご協力宜しくお願い致します。

■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、下記事項をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけ下さいませ。

日付	方法	相談対象	学年	性別	相談者	相談内容	備考
100401	訪問	〇〇小	小6	男	教師	発達障害児へのかかわり	(特別支援コーディネーター)
100405	メール	××中	中3	女	教師	いじめへの対応	

報告用紙は、教育人間科学部総務グループ入り口はいつて左手にあるレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター教育相談室及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出してあります。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」スタッフ募集

相談スタッフを募集しています。新しく着任された先生や未登録の先生方は、この機会に是非ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。新規登録をお考えの先生は、教育人間科学部附属教育実践総合センター谷口までご連絡くださいませ。ご継続いただける先生方の再登録手続きは不要ですが、相談日時等変更点がございましたら、ご連絡ください。

これまでのセンターだよりの一部は<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html>で見ることができます。